

# 墨 東綺 譚

市川市邦楽連盟・劇団市川座・市川市 共催公演

原作：永井荷風 脚色・演出：吉原廣

ねえ、あなた…、  
わたし、借金を返してしまったら、  
あなた、おかみさんにしてくれない？

隅田川東岸玉ノ井の娼婦お雪と老年作家のひと夏の恋と別れ！  
“市川名物”文豪永井荷風の代表作に果敢に挑戦！

**日時** 令和5年(2023) 3月4日(土) 開演 13時(Aプロ)と 17時(Bプロ)  
3月5日(日) 開演 11時(Bプロ)と 15時(Aプロ)  
(一幕・上演時間1時間50分・開場は各30分前)

**会場** 市川市文化会館小ホール

**入場料** 全自由席 前売り 2,000円 / 当日自由席 2,500円

■市川市邦楽連盟 090-4592-2515 (松島)

■劇団市川座 〒272-0824 市川市菅野 1-1-23 スペースにわにわ内 (市川座HP)  
〈TEL&FAX〉047-369-7522 〈Mail〉 ichi\_bun\_net@yahoo.co.jp  
〈HP〉 <https://ichikawaza.jimdofree.com/>

■市川市文化会館 037-379-5111 ■市川市行徳文化ホール I&I 047-701-3011

お申し込み  
(お問い合わせ)



(市川座HP)

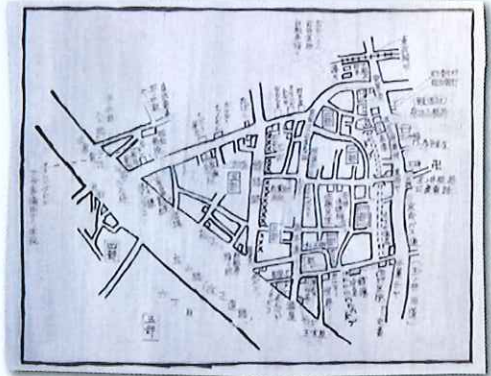
## 作品介绍

永井荷風(ながいかふう)は、明治12(1879)年生まれ。アメリカ・フランスへの外遊後の29歳頃から「あめりか物語」「ふらんす物語(発禁)」を発表して一躍有名作家となり、慶応義塾大学文学部教授を勤め「三田文学」を発刊するなど、一躍有名作家となった。昭和21年から34年まで、市川市菅野や八幡に老後を暮らした。

『遷東綺譚(ぼくとうきだん)』は永井荷風56歳時に発表した、「隅田川東岸の不思議な物語」を意味する傑作小説。

昭和11年頃、旧東京市向島区(現在の東京都墨田区)に存在した私娼窟・玉の井を舞台に、小説家・大江匡と娼婦・お雪との出会いと別れを、季節の移り変わりとともに情緒と哀愁を込めて描いています。朝日新聞に連載されて大評判を呼びました。

“時代錯誤”的にも映るこの作品をどう現代に蘇らせるか?にご期待ください。



## あらすじ

小説家・大江匡は6月末のある夕方、私娼街の玉の井付近を散策する。

小説『失踪』の腹案を練るためのロケハンのつもりである。

急に雷雨が襲う中、日本髪姿の娼婦お雪と出会い、誘われるまま部屋に上がる。

大江はお雪のもとに度々通り、なじみを重ねる。

ある日お雪は、「借金がなくなったら、あなたのおかみさんにしてほしい」と言い出す…。

<b>出演</b>	加藤俊明 須藤文江(Aプロ) 渡辺美佐(Bプロ) 設楽裕	名倉ゆみこ 山田澄子(Bプロ) 船木乙乃 松島庄吉郎	中村守 渡邊博 細井幹夫 他・友情出演	梅原ひろみ 原田由紀(Aプロ) 豊田実
<b>脚色・演出</b>	吉原廣	<b>作曲・演奏</b>	杵屋栄日陽(三味線) 今藤政優(三味線) 設楽瞬山(尺八・笛)	
<b>照明</b>	関定己	<b>音響・効果</b>	藤井昭哉	<b>舞台監督</b> 富士川正美
<b>ステージ・マネージャー</b>	北川妙子	<b>宣伝デザイン</b>	安西真幸	

## 会場

**市川市文化会館**  
〒272-0025 千葉県市川市 大和田1-1-5

- 〈JR線〉 総武線本八幡駅南口より徒歩10分
  - 〈私鉄〉 京成線八幡駅より徒歩15分
  - 〈地下鉄〉 都営新宿線本八幡駅A3出口より徒歩10分
  - 〈バス〉 「文化会館前」下車
  - 〈車〉 京葉道路ご利用の方は市川インター下車
- ※会館の有料駐車場(30分100円)は台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

